

上毛町教育委員会だより



▲南吉富小学校:授業風景

令和3年度学校教育スタート

生きる力を育むために

令和3年度の学校教育がスタートしました。

友枝小学校17名、唐原小学校14名、南吉富小学校43名、西吉富小学校12名、そして上毛中学校65名の新1年生を迎えています。

小学校は昨年度から、中学校は本年度から、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準である学習指導要領が新しくなっています。

この学習指導要領には、「学校で、学んだことが、子どもたちの『生きる力』となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現して欲しい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい」という願いが込められています。

これらの願いを実現するために、「学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性」「実際の社会生活で生きて働く知識や技能」「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力」の3つの力をバランスよく育てていきます。

そのために、学校は、主体的・対話的で深い学びの視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視して次のような授業を目指し改善を図っていきます。

- 一つ一つの知識がつながり「わかった!」「おもしろい!」と思える授業。
- 見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業。
- 周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業。
- 自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業

新しい学習指導要領の内容を、保護者や地域の皆さま方と共有しながら子どもたちの学びを社会全体で応援していきたいと考えています。

特にお子さんが学校で学んだことについて、ご家庭で話し合うなど、保護者の皆さま方からの働きかけが、子どもたちの「生きる力」を育む大きな原動力になりますのでご支援・ご協力をよろしくお願いします。



▲友枝小学校:学級開き



▲唐原小学校:離任式



▲西吉富小学校:登校の様子



▲上毛中学校:対面式

上毛町立体育館(仮称)実施設計が完成しました

町では、生涯スポーツの推進をはじめ、地域コミュニティの醸成と定住人口の増加に向け、老朽化が進む農業者トレーニングセンターと健康増進施設の2館を集約し、多様な交流を促進する新しい体育館を建設します。今後、令和3年度から令和4年度にかけて工事を行う計画です。



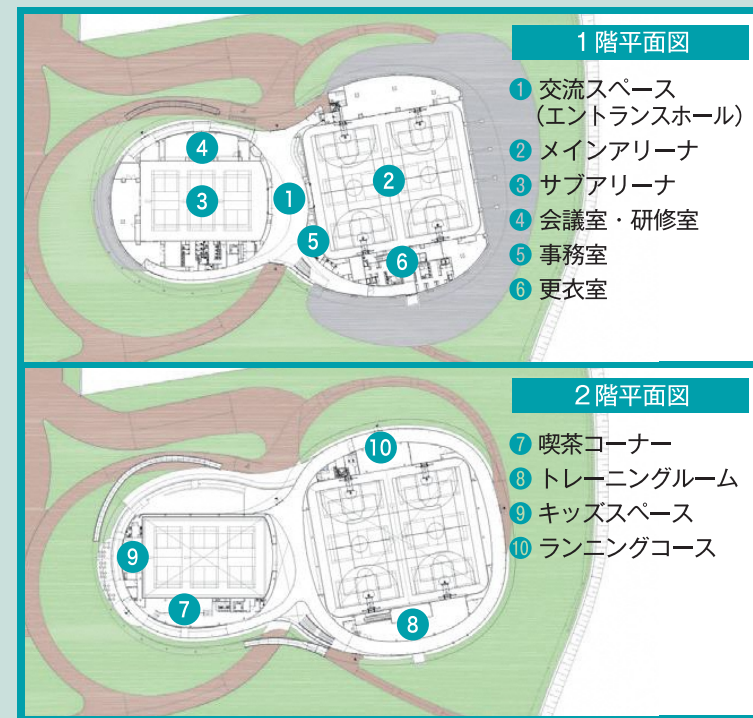
※完成イメージ(設計/NAP建築設計事務所)

多様な出会いと交流を生む  
コミュニティ型体育館

2つのアリーナを緩やかに周遊できる∞型スロープの動線と、その周りには、喫茶コーナーやキッズスペース、トレーニングルームなど様々な活動が生まれる空間や居室を配置しており、館内で行われている多様な賑わいを感じることができます。従来型の体育館とは異なり、出会いと交流が生まれる活気あふれる空間をつくることで人々の日常に溶け込み、地域の皆さんに親しまれ町のシンボルとなるコミュニティ型の体育館を目指します。

建物の外周部は、どこからでもアプローチできるなだらかな丘により、周囲の景観との連続性をつくり出しています。

●問い合わせ先  
上毛町教育委員会 教務課 社会教育係  
TEL 72-3165(内線172)



エントランスホール

世代や目的が異なる人々が、互いの活動や体験を共有し合うことができ、様々な出会いと交流の場をつくり出します。



メインアリーナ

人の触れる壁や家具などに上毛町産の木材を使用することで、温かみのある空間をつくり出します。



喫茶コーナー

アリーナ周囲の∞型の動線は自由に周遊することができ、様々な角度からアリーナ内の活動を眺めることができます。